

フランス図書館の コレクシヨンの 文化遺産と合理性

講師：Albert POIROT (アルベール・ポワロ) 氏

／ストラスブール国立・大学図書館館長

日時：2010年11月6日(土) 14:00～16:00 (受付開始 13:30)

場所：立命館大学アート・リサーチセンター多目的ルーム

※フランス語による講演になります(通訳つき)。

※講演会終了後に懇親会(会費約5,000円)を予定しています。

本講演は、日仏図書館情報学会の推薦で、財団法人日仏会館の日仏学者交換事業の一環として来日されるアルベール・ポワロ氏による特別講演です。東京で行われる同学会40周年記念シンポジウムの基調講演に続き、ここ京都での講演も実現することができました。

講師のポアロ氏は、オート＝ソーヌ県貸出中央図書館の現場から、伝統ある指定市立図書館の館長を経て、フランスの図書館行政を統括・監督する図書館監督総監を務めました。現在は、ストラスブール国立・大学図書館長の職にあります。このように国立図書館、公共図書館、大学図書館、さらには、国の図書館監督にいたるまでフランス図書館の全体像をもっともよく把握している専門家のお一人です。また、図書館コレクションだけでなく、フランスの文化遺産全般についての知見も深い方です。

今回の講演では、フランス図書館のコレクションに焦点をあてながら、フランスにおける文化遺産に対する理念について、氏の経験を交えながら、具体的にお話していただく予定です。

この10年をとってみても、フランスに関する文化遺産ならびにその情報化についての講演会は、わが国では数えるほどしか開催されていません。このような意味においても今回の講演会は、図書館ならびに、博物館・美術館の関係者にとって有意義なものとなるはずです。皆様のご参加をお待ちいたします。

アルベール・ポワロ氏

プロフィール：1952年生まれ。

1977年 Ecole des Chartes (国立古文書学校) 卒の Archiviste-paléographe

1977-80年、セヌ＝エ＝マルヌ県貸出中央図書館副館長。

1981-83年、オート＝ソーヌ県貸出中央図書館長。

1983-94年、ディジョン市立図書館長。

1995-96年、文化コミュニケーション省図書・読書局長付。

1996-2005年、図書館監督総監。

2006年より、Administrateur de la Bibliothèque nationale et universitaire de Strasbourg (ストラスブール国立・大学図書館館長)、現在に至る。

専門：図書館情報学、文化財学。

主催：日仏図書館情報学会／文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)／立命館大学アート・リサーチセンター／アート・ドキュメンテーション学会関西地区部会

問合せ先：人文社会リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL 075-465-8476 E-mail arc-jimu@arc.ritsumeai.ac.jp